

2020年2月22日

つくばサイエンスカフェ・スキエンティア 2020

「本物を見分けるための宝石学」を受講して

主催：つくばサイエンスツアーオフィス 一般財団法人 茨城県科学技術振興財団

日本宝石協会 会員 Y.K.

古屋正貴先生の筑波での一般者対象のセミナーは、幅広い年齢層の方々が来場され、満席でした。



小中学生のみならず、筑波という場所柄もあって

か、様々な分野で活躍されている研究者の方々もいらっしゃり、古屋先生へ投げかける質問が、宝石の域を超え、科学的観点からのものだったり、普段の宝石業界向けのセミナーとは違った躍動がありました。



スライドを使った講義では、初めて宝石学に触れる人にでも理解出来るよう、重要なポイントが纏められ、また、難しそうな光学的な現象についても、観察する事で理解出来るように、実物の宝石とペンライトが手渡されました。

沢山の宝石を見比べて、それぞれの特性の違いを視覚的に実感する事が出来ました。

古屋先生の明瞭な解説は面白く、男性の方々が、ほほお〜、と首を上下に大きく頷かれていたのが印象的でした。女性の方々が熱心で、配布されたプリントに、びっしりとメモ書きをされている方もいらっしゃいました。小中学生は食い入る様に宝石を見つめ、興味を深め、大人が気づかないような事を質問してみたりなど、驚かされる事が沢山ありました。

宝石業界内のみだけでなく、一般の方々へ宝石学の楽しさを説く古屋先生の活動を素晴らしいと思いました。